

3月16日(月)

あふれる励まし

聖書朗読 箴言 12:17~26

ですから、あなたがたは、今しているとおり、互いに励まし合い、互いに徳を高め合
いなさい。 Iテサロニケ 5:11

1978年東ドイツで、家族四人全員が、自由を求めて自家製の気球に乗って西ドイツ
への脱出飛行を試みました。しかし国境から約200メートル手前で不時着してしまいま
した。気落ちした両親に子ども達は再度挑戦してくれるように働きかけました。その後
一年かけてタフタと呼ばれる生地をやっとの思いで手に入れ、それを縫い合わせ、周り
に不信を持たれないように二度目の挑戦を果たし、見事に西ドイツに降り立ちました。

励ましは、「前を向いて進むように促す」ことです。それは、子ども達、両親、祖父
母、生徒、先生と、誰でもが出来ます。褒めたり、メモを渡したり、電話をしたりして
励まします。

やさしい言葉は勇気づけ、辛らつな言葉は逆に落胆させたりします。人々に代替案
を示すことにより希望を与えることもあります。現状に固執しすぎると逆効果になるこ
ともあります。励ましとは人々に肯定的な考え方や選択すべきメニューを与えることで
はないでしょうか。そうすることによって他人のみならず自分自身を取り巻く環境も良
くなるのです。

情熱は励ましをするためには必要なものです。良い知らせに対しては、快く受け入
れてほしいものです。励ましでもって他人に接しましょう。

讃美歌 第二編 145

祈り 天のお父様。私たちは友達が慈悲深いあなたの賜物であることを覚え感謝し
ます。

イエス様の御名を通して。アーメン。

アン・ヤング 1982

今日の力

2015年3月16日~3月22日

翻訳 井上輝彦

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

3月17日(火)

友人からの批判

聖書朗読 箴言 27:1~11

それでは、私は、あなたがたに真理を語ったために、あなたがたの敵になったのでしょうか。
ガラテヤ 4:16

アブラハム・リンカーンは、他人からの批判を甘んじて受ける稀な謙虚さを持った人物でした。彼は今日の聖句の真実を知っていた人物でもありました。『憎む者が口づけてもてなすよりは、愛する者が傷つけるほうが真実である。』(箴言 27:6)

十代の若者は、一般的に批判には敏感で両親や権力者や当局の助言を不快に思うふしがあります。しかし年を取るにつれて友人からの真実の言葉の良さを認識し、辛抱を醸成してくれるのです。賢い人は欠点を指摘してくれる友人に耳を傾けます。友人も、聞き手である私たちが不快になるかもしれないと思いつつ敢えて話してくれているのです。良い医者はニコリともせず、健康でもない患者に「健康ですよ」と言いません。藪医者患者の耳に心地よい言葉を言うでしょう。名医はたとえ傷つくことであっても、私達に真実を話してくれます。

本当の友人は金にもまして価値があります。そして私に遠慮なく非難してくれる真の友人に感謝する今日この頃です。

讃美歌 312

祈り 親愛なる主よ。友情関係を重んじるよりも、私達を愛し、欠点を進んで指摘してくれる友人が与えられたことに感謝します。
イエス様の御名を通して。アーメン。

F・W・マトックス 1959

3月18日(水)

苦難の時

聖書朗読 伝道の書 7:7~26

順境の日には喜び、逆境の日には反省せよ。これもあれも神のなさること。

伝道の書 7:14

人は長い人生の中で時には苦境に陥ることがあります。ここ2~3年でも多くの人が苦境に直面しています。二人の息子達もご多聞に洩れず経済の不調の犠牲になっています。旧知の人が言うにはそれまでは二人とも湯水の如く贅沢をしていたそうです。

一旦萎えたプライドを取り戻すのは難しいことです。調子のいい時は、自分には力があり、自分の能力を信頼する余り、うぬぼれにつながる場合があります。落ちることにより失敗の感情、自己否定そして神頼みという行為が生まれます。

意気消沈した状態から回復した人の態度を見ると、以前より教訓や知恵が増し、無条件に神様を求めているのがわかります。耐えることを学び、神様へお任せする心を養っていくのはやさしいことではありません。しかし、愛する人達がいて、その人達への感謝の気持ちを絶えず持っている人の人生は、初めより終わりが良くなっています。愛する人を見守り、愛する人のために祈り、時には傷つくことによって、神様に一步近づいていきます。確信を持って言えるのは、逆境に立ち向かっている人生を通して、私たちは以前よりも強く豊かになります。知恵の恩恵は神様の中にあります。

聖歌 588

祈り 神様。今日のことに集中し一日を精一杯生きることが出来る様助けて下さい。しかし私たちの不運を超えて永遠の愛を見ることが出来ますように。あなたの見守りと成長への導きに感謝します。

イエス様の御名により。アーメン。

メアリー・ジョー・クレンデン 1987

3月19日(木)

神様が支配する世界

聖書朗読 エゼキエル 29:1~12

神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。

ローマ 8:28

私の信仰している神様はどれ位偉大なのでしょう。私はごく些細なことでも神様に相談します。神様について考える時は、自分の周りのことやごく限られた範囲になります。神様は取るに足らない私のような人生に対しても、神様であられるのです。では、国家や王国の神様・・・そう歴史上——過去や未来——の神様について考えてみましょう。神様はイスラエル人を懲らしめるためにアッシリアを利用されました。またバビロンを操りエジプトやユダと敵対させました。そして同じ神様の摂理が人間同士や国家同士にも働いていて、人や国家を動かし神様の御計画を実施していかれたのです。

王様はよく自信過剰に陥りやすいものです。王パロは、ネブカデネザルやダリウスと違って決して他人の意見を認めることはありませんでした。確かに彼の関心事は自分の力と利益を得ることでした。パロは誇り高い王でした。しかし王でなくても、一般の私たちでも神様を忘れ、自分自身を中心に考えることはあります。私やあなたでもそうなりそうです。

私の信仰している神様は、大きいことも小さいこともご自身の意思を実現されます。人間の造った国家は神様の手の中にあります。神様のご計画は、私の人生だけのものではなく、その御計画はもっと広いものを感じられています。神様にとっては、特殊な事件というものではなく、すべての人にとって神のご計画を実現するのにありふれたやり方と言うものはありません。神様は神秘的な方法で偉業を達成されるのです。

聖歌 274

祈り 主よ。私の心の中にあなたのご計画と目的に敏感になるようにして下さい。人々や国家のためのあなたの臨在の実現のために、私の全てを使うようにして下さい。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ジョン・アレン・チョーク 1964

3月20日(金)

神様が望んでおられること

聖書朗読 ミカ 6:6~8

孤児や、やもめたちが困っているときに世話をし、この世から自分をきよく守ることです。

ヤコブ 1:27

友達が、欲求不満が原因で会社を辞めました。というのも彼女が怠け者とか仕事が出来ないからではなく、何をするかが分からなかったのです。仕事内容の記述したものがなく、3人が寄って集って彼女にいろいろと仕事の指示をするので、あちらの要求を聞けばこちらの言い分が聞けなくなり、打開するすべがありませんでした。この状態から抜け出し、別の仕事を見つけないと、気が変になりそうだったからです。

神様に導かれた生活を望む人の成すべきことは、神様の霊により、大昔に預言者ミカにより述べられています。神様は私たちに何をのぞんでおられるのでしょうか？それは清貧でもなく、禁欲と自己否定でもなく、大いなる貢物でもなく、伝道旅行でもなく、殉教でもありません。ほとんどの人はそんなことをするために召されることはありません。各々の信者に求められているのは、もっと現実的でそして困難を伴うものです。

神様は、捧げ物や礼拝に多く出席すること、奉仕をたくさん請け負うことよりも、義、哀れみ、謙虚さの実行を望んでおられるのではないのでしょうか。

他人を色眼鏡で見たり、えこひいきをしないようにしましょう。また同情深く、いつも哀れみをもって接することが出来るように心がけましょう。そして自分を欺かず、自分自身も神様に対してお願いする立場であることを忘れないようにしましょう。神様は私たちが創造された時のイメージに近づくことを期待されています。

讃美歌 508

祈り 父なる神様。神様の望んでおられることを私および私の周りの人たちが、知ることが出来るように導いてください。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ルーベール・シェリー 1986

3月21日(土)

犠 牲 に 対 す る 対 応

聖書朗読 マタイ 5 : 1～12

わたしのために人々があなたがたをののしり、迫害し、ありもしないことで悪口を浴びせるとき、あなたがたは幸いです。 マタイ 5：11

迫害されることや、他人及びやむをえない状況の犠牲になるのは、珍しいことではありません。実際それを受け入れることでプラスに作用する場合もあります。ある日、息子に自転車乗りを教えている時のことでした。だんだんスピードにも慣れてきた頃、息子は自転車が制御できなくなり、我が家の車のバンパーに自転車をぶつけて転がってしまいました。

すぐに息子の体を起こし、涙と泥を拭いてあげて、車に向かってバンパーを蹴り上げて「よくもわたしの息子のナタンに怪我をさせて。この馬鹿たれ」と言いました。確かに息子にとって悪いのは自分ではなく車であると父親が認めることで安心し、それが負傷した息子を勇気づけました。

私たちがやむをえない状況の下で犠牲になった時は、責任を追及されることはありません。政治家が悪事を働き、表面化した時に述べる言葉を注意深く聞いていると、決まって残念な出来事だったと言っています。そして倫理的追求を棚上げします。過去に新聞の一面トップになるような悪事でも、倫理上問題ありとか罪深いとかの言葉よりも残念なこととして片付けられています。

犠牲に対する対応がどこかおかしいと思います。イエス様は私たちに犠牲を求められているわけではありません。イエス様の祝福とは犠牲を前提としたものではなく、真の弟子達への約束であります。

讚美歌 327

祈り 主よ。今日行動や考えに責任が持てるように導いてください。予期せぬことが起ころうがそれに対処できますように。

イエス様の御名により。アーメン。

デーブ・ブランド 1989

3月22日(日)

お 返 し

聖書朗読 マタイ 5 : 14～20

わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。

ヨハネ 14：6

私は、シアトルに居たダンおじさんがゴールドラッシュを求めてユコンに行った話をよく聞かされて育ちました。ずっと後になって彼に会った時、彼自身が、荷馬と共に荒野で道に迷い何日もさまよって続けてやっとのことで猟師の小屋にたどり着いた話をしてくれたのを覚えています。見ず知らずの人からの食べ物や温情がおじさんを救ったのです。体力が回復し、出て行くための荷造りをしながら、おじさんは「どのようにお礼をすれば良いのでしょうか」と尋ねました。

獵師が言うには「若者よ、わたしの貸しは大きいよ。一生かけて返してください。何処であろうと、誰であろうと迷っている人がいれば、手を差し伸べその人の道を見つけてあげなさい。それがわたしへのお返しです」と言いました。

おじさんは決してその言葉を忘れませんでした。彼はキリストへの信仰で出来る限りのことをしようとしたのです。そしてあちこちで迷っている人々に希望と光をもたらしました。彼の指摘によると、キリストへの道はいつでも耳を傾け、とにかく元気づけることです。

汝は道であり、罪や死から汝へ逃避する。

父は主を求め主も父を求める。

—G・W・ドア—又

讚美歌 第二編 494

祈 り 聖なる父なる神様。あなたが私たちにくださった救いと希望を他の人にも分け与えることが出来ますように。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ジェームズ・L・ローベル 1960